

就職活動にも役だつ実践マーケティング講座
業界リサーチ:小売・コンビニエンスストア

圧倒的な強さを誇る
セブン・イレブンの実力を探る

主催:茨城大学人文学部マーケティング論ゼミナール

第1回

我々マーケティング論ゼミでは、就活と研究の両立を目指してゼミ活動を展開しています。11月から1月まで、企業活動に由来する現代的課題を扱う講座を開講します。ご関心をお持ちの方なら誰でも参加できます。ゼミ生の研究報告、テーマに沿った外部講師の講演と盛りだくさんです。ぜひ足をお運びください。

百貨店や総合スーパーの劣勢が指摘されるなか、コンビニエンス・ストアが強さを誇っています。これは、小商圈を対象とした小売の業態として唯一成功しているからであり、同時に安定的にヒット商品が生まれ、魅力が持続するからです。そこで、コンビニ首位を独走するセブン・イレブンに注目し、どのような挑戦と成果が存在するのかを、幅広く議論していきます。

日時 2017年11月27日(月)14:30-17:00

場所 茨城大学人文社会科学部講義棟28番演習室
プログラム

第Ⅰ部 研究報告「コンビニ各社の動向」

マーケティング論ゼミ3年生

講演「徹底した商品力を磨くセブン・イレブン」(仮)

セブン・イレブン・ジャパン(株) 井上尊史氏

第Ⅱ部 ディスカッション

参加者全員の研究協議

参加方法

専用メールアドレス

(marketingronzemi2017@gmail.com)にお名前、学部、学科をご記入のうえ2日前までにお申し込みください。下のQRコードからも申し込みが可能です。ゼミ生や教員(今村)に直接申し出ても構いません。内容のご質問なども伺います。

遠慮なくお声かけください。

参加無料
どなたでも
参加できます



就職活動にも役立つ実践マーケティング講座
業種リサーチ:人材・教育

少子高齢化時代の 教育・福祉・介護ビジネスとは

主催:茨城大学人文学部マーケティング論ゼミナール

第2回

我々マーケティング論ゼミでは、就活と研究の両立を目指してゼミ活動を展開しています。11月から1月まで、企業活動に由来する現代的課題を扱う講座を開講します。ご関心をお持ちの方なら誰でも参加できます。ゼミ生の研究報告、テーマに沿った外部講師の講演と盛りだくさんです。ぜひ足をお運びください。

行政サービスの傍らには、いつも企業活動が存在します。学校教育の傍らに学習塾や模擬試験の業者が、老人福祉サービスの傍らに、福祉や介護のビジネスがあるのです。こうした企業活動は、進展する少子高齢化時代をどのように捉えているのでしょうか。また、我々にとって望ましい教育・福祉・介護とはどのようなもので、企業はどのような貢献を果たすのでしょうか。今回は、この業界最大手のベネッセの担当者にご登壇いただき、活発な議論を展開します。

日時 2017年12月4日(月)14:30-17:00

場所 茨城大学人文社会科学部講義棟28番演習室
プログラム

第Ⅰ部 研究報告「福祉・介護ビジネスの動向」

マーケティング論ゼミ3年生

講演「教育・福祉・介護に挑戦するベネッセの素顔」(仮)

ベネッセ i キャリア 東日本大学営業部

黒田紀夫 氏

第Ⅱ部 ディスカッション

参加者全員の研究協議

参加方法

専用メールアドレス

(marketingronzemi2017@gmail.com)にお名前、学部、学科をご記入のうえ2日前までにお申し込みください。下のQRコードからも申し込みが可能です。ゼミ生や教員(今村)に直接申し出ていただいても構いません。内容のご質問なども伺います。遠慮なくお声かけください。



どなたでも
参加できます



就職活動にも役だつ実践マーケティング講座
業界リサーチ:都市開発・ディベロッパー・小売

ショッピングセンター(SC)が切り拓く 新たな市場の創造

主催:茨城大学人文学部マーケティング論ゼミナール

第3回

我々マーケティング論ゼミでは、就活と研究の両立を目指してゼミ活動を展開しています。11月から1月まで、企業活動に由来する現代的課題を扱う講座を開講します。ご関心をお持ちの方なら誰でも参加できます。ゼミ生の研究報告、テーマに沿った外部講師の講演と盛りだくさんです。ぜひ足をお運びください。

地域活性化を考えるうえで、商業施設の行く末が心配される時代です。つくばの西武に続いて来秋、マルイ水戸店が閉店します。集客装置を失う中心市街地は、新たな挑戦を求めています。他方、オーパ水戸店は新規性あるアプローチでしたが、賛否ありますよね。さて、SCは何を基準に参画や撤退を決めているのでしょうか。今回は“テナント・ミックス”の視点で実績豊富な実務家を交えてさまざまな議論を展開します。

日時 2018年1月15日(月)14:30-17:00

場所 茨城大学人文社会科学部講義棟28番演習室

プログラム

第Ⅰ部 学生報告「商業施設のマネジメント」

マーケティング論ゼミ3年生

ご講演「SCのテナント・ミックス ～意図と課題～」

(株)東京ドーム 営業企画部テナント企画グループ

グループ長 田部井 一哉氏

第Ⅱ部 ディスカッション

参加者全員の研究協議

参加方法

専用メールアドレス

(marketingronzemi2017@gmail.com)にお名前、学部、学科をご記入のうえ2日前までにお申し込みください。下のQRコードからも申し込みが可能です。ゼミ生や教員(今村)に直接申し出ていただいても構いません。内容のご質問なども伺います。遠慮なくお声かけください。



どなたでも
参加できます



就職活動にも役だつ実践マーケティング講座 全3回(11月~1月)のご案内

主催:茨城大学人文学部マーケティング論ゼミナール

我々マーケティング論ゼミでは、就活と研究の両立を目指してゼミ活動を展開しています。11月から1月まで、企業活動に由来する現代的課題を扱う講座を開講します。

テーマは学生が主体的に設定し、毎回学生の研究成果を披露します。そのうえで、実務に精通した方を招聘し、テーマに沿った議論を展開します。つづいてディスカッションの場を用意しています。ここでは参加者全員が協議に参加し、企業活動の成果や未来を考えます。企業活動の実際が学べるほか、業界研究だけでなく、さまざまな社会のリアルを知る機会になるようなプログラムを用意しています。

ご関心をお持ちの方なら誰でも、どの回でも参加できます。ぜひ足をお運びください。

予定しているプログラム

実施回・月	テーマと概略
第1回 (11月27日)	「圧倒的な強さを誇るセブン・イレブンの実力を探る」 百貨店や総合スーパーの劣勢が指摘されるなか、コンビニエンス・ストアが強さを誇っています。これは、小商圏を対象とした小売の業態として唯一成功しているからであり、同時に安定的にヒット商品が生まれ、魅力が持続するからです。そこで、コンビニ首位を独走するセブン・イレブンに注目し、どのような挑戦と成果が存在するのかを、幅広く議論していきます。
第2回 (12月4日)	「少子高齢化時代の教育・福祉・介護ビジネスとは」 行政サービスの傍らには、いつも企業活動が存在します。学校教育の傍らに学習塾や模擬試験の業者が、老人福祉サービスの傍らに、福祉や介護のビジネスがあるのです。こうした企業活動は、進展する少子高齢化時代をどのように捉えているのでしょうか。また、我々にとって望ましい教育・福祉・介護とはどのようなもので、企業はどのような貢献を果たすのでしょうか。今回は、この業界最大手のベネッセの担当者にご登壇いただき、活発な議論を展開します。
第3回 (1月15日)	「ショッピングセンター（SC）が切り拓く新たな市場の創造」 地域活性化を考えるうえで、商業施設の行く末が心配される時代です。つくばの西武に続いて来秋、マルイ水戸店が閉店します。集客装置を失う中心市街地は、新たな挑戦を求めています。他方、オーパ水戸店は新規性あるアプローチでしたが、賛否ありますよね。さて、SCは何を基準に参画や撤退を決めているのでしょうか。今回は“テナント・ミックス”の視点で実績豊富な実務家を交えてさまざまな議論を展開します。

※参加申込書に「〇」印をご記入戴きましたら、後日メールにて内容をお知らせします。

参加方法

専用メールアドレス

(marketingronzemi2017@gmail.com)

にお名前、学部、学科をご記入のうえ2日前までにお申し込みください。下のQRコードからも申し込みが可能です。ゼミ生や教員

(今村)に直接申し出ていただいても構いません。内容のご質問なども伺います。遠慮なくお声かけください。



参加申込書

参加を希望する回に〇印を入れてください。

第1回	第2回	第3回
-----	-----	-----

学生番号 ()
お名前 ()
メールアドレス (@)